

水源禪師法話集 102

(2018 年 7 月 24 日 カナダ合宿五日目)

2019 年 3 月 15 日

一乗禪の会



アフガニスタン カブールの博物館

目次

水源禪師法話

無明を打ち破ったお釈迦さま.....	3
お釈迦様曰く【理論仏教はやめなさい、仏教は全て体感】.....	4
お釈迦さま最後の弟子、須菩提.....	5
パリー語とサンスクリット語の理解が無ければ、 討論すらできない.....	6
現在も生きているデバダッタの悪知恵.....	8
自分の足で一步一步、進むしかない.....	9
羅針盤の指す方向に只々、進んでください.....	9
「I t i」・大海のように深い意味がある.....	11
津軽弁はサイキックな言語.....	11
日本語だけで理解して「分かった」というのは完全に無明.....	13
菩薩戒をやっても菩薩界に入れない、本当の菩薩行とは、.....	14
24 因縁.....	15
オウムによって徹底的に潰された日本の精神界.....	16

水源禪師法話

無明を打ち破ったお釈迦様

昨日、無明によって、私たちがこういう風に無量の時空で、生まれては死に生まれては死に、こういう風になって来たわけですが、逆に、光明によって無明を打ち破って、今度、それを、そういう風にならないという方法を発見したわけですね。

お釈迦様は、夕方から、菩提樹の側に座って。最初、実は無明から全てが発生すると。無明があるから火災が発生するから、欲とか色んな、ジェラシーとかそういう事が出てくるわけです。

そういう事によって生まれ出てくる私の体だから、この世に生まれて来ても、またそういう因果関係で因縁、カルマでその繰り返しをします。そのカルマを打ち破る光明によって、良いカルマが出て、生死を超えて、そういう世界から離れる方法を、ちょうど真夜中に悟ったのです。

それで、その後、朝方にまた午前三時か六時の間、それを、もう一回検証しました。

最後の中夜が終わって、今度は後夜、その後中夜から今度午前二時か三時あたりから、これがあるからあれがあると、これが発生するからそれが発生すると。これが無いからあれも無いと、これが滅してしまうから滅びるからそれもまた滅びると。

という風に、そういう風にある、それから生まれるとか、それから何も無くなるとか、何も無くなって、実際にそれが全部消滅するという事を確認しました。

これがあるからそれがあると言う、Iti、英語では It といいですね、Iti これが Iti。imasmiṃ sati idaṃ hoti, sati idaṃ hoti iti だから神の事とか究極の事を表すのに大体 It とか言う It、It is の It。It 神とも言わずにそういう風に表現します。

ここはお釈迦様の文明は、インド・ヨーロッパ語だからやっぱりよく似ているわけで、逆にただ西洋の場合は、そういう風に言語が似ても、昔はブルガリアとかローマにも全部、仏教の教えが広がったけれども、特にギリシャの人は熱心にそれを勉強して哲学者が、アフガニスタンのカブールというガンダーラ哲学を勉強に来ました。

お釈迦様曰く【理論仏教はやめなさい、仏教は全て体感】

だから、相当、影響を受けているのだけれども、心の修行の方法をロジック、論理で解析しようとしたからそれが出来なかったのです。1800年にパスカルが、「ソクラテスは間違っている」と、何故かと言えば、「これを見てくれ」と。「私は真空を作り出す」と。ソクラテスが「真空は絶対に出来ない」とそう言ったのです。それでパスカルがその証拠として、真空管の中で鉄と羽が同じく落ちるわけことで証明して、「ああ、そうだ」と。

ところがなんと、現代は、この真空の中に凄いゼロエナジーという原爆よりも凄いエネルギー反応が発見されたのです。

という風に、結局、ソクラテスが正しかったわけです。「絶対に真空はあり得ない」と。

だから、私たちは本当に無明なのです。ひとつを取り砕いてやればそうだそうだと。人間は風に揺れる葦なのです。考えも何も、考える葦ではないです。昔はパスカルが人間は考える葦とか言っていたけれども、風に揺れながらね。

今はもう考えもなく、コンピューターによって。ふらりふらり、何でももう、本当に真っ黒け、の無明の世界にまた入りました。

だから、ロジック、ロジックで現代もね、やっぱりデモクラットとか科学とか哲学ギリシャ哲学が基本になっているから、それも本当に体験してなく、ただそうさうだという鵜呑みをする事で、私たちは理解したと成るのです。

1800年代パスカルがやった真空管の実験によって。それで「ソクラテスが間違っている。真空は出来る」と。ところがこの絶対真空の中でエネルギーが出てくるわけで、ゼロエナジーと。

それから二十年前かな、その時、ロシアで最初にどういう風にやったかと、真空にして行くわけ、どんどんどんタンクを。タンクを真空にして行けば外の圧力でバーンと潰れるでしょう？だから、使用したエネルギーと潰れるエネルギーが同体でないといけないのに、潰れる時に使用したエネルギー以上エネルギーが出てくるのです。あ、これはおかしいと。

だから仏教もね、お釈迦様が全て体感だと言っています。体感。体感しなければ、理論だけでは仏教ではないから辞めなさいと言っておられます。

今の日本は、朝から晩まで経典読んで頭に詰め込んで、特に新興宗教はもう勉強会、勉強会。頭も無いのに、体験も無いのに、何をするのでしょうかね。もっと頭が狂ってしまって、社会に混乱をモタラシテいます。

あの偉大なパスカルが、病原菌発見して、伝染病を防いだ。そういう超天才ですら間違うのに、私たちは何もしなくても総て分るという、自分たちは神と思ひこんでいますね。

その時は、実験台が無くて。今度は科学が発達して、ロシアの科学者がゼロエナジーという事を発見した。アメリカの偉大な哲学者とかはそれでも、そういう科学者もやっぱり考え付かない。実際に、ロシアがやった後でチェックする為に、凄い機械をアメリカよりロシアへ持って行きました。

その通りだった。だから、自然界のこの凄さというのは何回も私が言う様に、ほとんど、今、人間界はもう無知の涙。無知の涙と言うしかない。

だから、そう言う考えは一切辞めなさいと。本を読んでも良いけれども、その後、それを確かめる瞑想をしなさいというのはここに 있습니다。

ところが、瞑想もデバダッタのような手法で、さもありで、皆を騙すわけです。それでお金を取って集団を大きくすれば良いと考えて。

瞑想は一人でしか出来ないのですよ。本当に。先生も仙人も教えられない、本当に数少なく、それが伝播して行くくらいだから。先生に出会えるという事は、本当に超奇跡なわけです。

だから、誰も彼も千人も万人もいた、それはほとんど嘘、教える事が出来ない。その人が本物でも教える事が出来ない。パオセヤドーでも千人いれば一人くらいしか教えられないと言っている。

【参加者】

千人で一人。

【水源師】

そう。一人くらいしか教えられない、実際にそうですよ。だから、パオも千人いれば一人しか行を達しないから、そこなのです。ところが、そういう所には誰も彼も悟って・・・あり得ない。

お釈迦様は違います。そういう人を指導し、どれくらいの人々を救ったか。私たちのもう滅法に近い世だったら、一人の先生に出会えるという事すらもう、奇跡に近いのです。

お釈迦さま最後の弟子、須菩提

その金剛般若波羅蜜多心經の須菩提と中国語で訳しているけれども、スボダナ、確かスボダナだった。

最後の涅槃に入る時に、彼は全インドの哲学の学校を、総て学び回ったのです。それで最後に残ったのがお釈迦様の教えの噂を聞いて、聞きたくて、死ぬ直前にやって来ました。それで、お釈迦様は来るのが三か月前より分かっていました。

須菩提が「会いたい」と来たけれど、「お釈迦様は涅槃に入るから遠慮してください」と。しかし、お釈迦様が、「須菩提を呼んでくれ。この須菩提は私の最後の仏弟子になるから」と。それでアナンダ様が「ああ、この方の事を言ったのか」と、その時は何を言っているのか分からなかった。「私が涅槃に入る時、最後の比丘が来るから」と。そして異空間で、究極の秘伝を涅槃に入る直前に伝授しました、それで北伝の花咲く道が出来たのです。

その時は、バラモンの行者で、私が前に六派という事を説明したでしょう？その六派の哲学の学校を全部回って来たわけです。それで、最後に質問しました。その須菩提が、スボダナと言った確か、インド語では。

パリー語とサンスクリット語の理解が無ければ、討論すら出来ない

中国語では須菩提になります。カシャパ尊者が迦葉大師になって。だから、もう言葉がね、これにプラス日本語ですよ、また変わって中国語から。日本語の漢文の読み方と中国の読み方は全く違う発音です。

だから、チンプンカンプンなので、誰も彼もが何を言っているか分からない。只、私が忠告を受けたのは、ぜひパリー語とサンスクリット語を習ってくれと。というのは、これをやらなければ国際的にどうしてお話出来るのかと。

皆、お坊さんは、南伝でも中国でも韓国でもどこでも普通、比丘となれば、サンスクリット語とパリー語は習わなければいけないのです。言葉の討論する時に。幸い、中国圏の漢文で私は中国のお坊さんと討論する事が出来たけれども、やっぱりパオでは私がパリー語で言わなければ話が通じないのですよ。

だから、必死になってパリー語をポンポンポン言えば「おお！」と分かってくれるけれども。日本語でそれを言って、どうすしますか。

それが「私、出来ない」って。それはお坊さん、「私、英語勉強したくない」と。英語ですら通じないのに、お釈迦様の言った言葉をやっぱり使わなければいけないし、日本の密教は全て基本がサンスクリット語なのです、真言は。だから、それを習わなければいけないし、言えなければいけませんし。勉強してないのですね全然。その意味も勉強してないですね。

何故かと言えば、荒難行の山修行は、あれは日本の山伏の行であって、密教とは関係ないわけです。それを日本風に取り入れて山伏がこうやって、それは神通が発するけれども、それは、お釈迦様は「辞めなさい」と言った行法なわけです。それよりもまず「悟りに行きなさい」と。

だから、今でも人間はね、そういう棚ぼたが大好きだから、アフリカではブードゥと言ってね、やっぱり生け贄を捧げて、幸運を頂くとか、それから本当にこの女性と結婚したいから魔術かけて恋に落ちて結婚したら、それが突然、

冷めてね、あれ？何であなたがここにいるのですか？ 私の旦那さんなの？と。大喧嘩になって別れた。本当、本当の話なのです。魔法が解けて。

そういう事をするわけですよ、昔から。だからインドでも魔術を掛けるブラックマジックとか、その古いカイロとか、もうブラックマジックの大帝国なのですよ。人まで殺しますからね。

【参加者】

エジプトも危ないと言いますよね？

【水源師】

いや、エジプトどころか全世界。南米のジャングルでも自分の一人が死ねばあの村の人が殺したと言ってね、サイキックで戦争するから、サイキックで。科学小説みたいに、戦わずにしてサイキックで殺しに行く。だから危ないのですよ、人間の秘めた力と言うのは、恐ろしい力を持っています。



弘法山 風の子

現在も生きているデバダッタの悪知恵・ゴータマカ

だから、素直にこうして勉強する方法をやれば、またこんな滅茶苦茶な真っ黒け、の訳の分からない事をやるし、本があってもそれが本職なのに全然勉強しない。「ああ忙しい、あっちのお葬式、こっちのお葬式」それから、その法話、何が法話、修行もしないで法話できるのでしょうか？書き写しで。何の意味もない事。そんな恐ろしい事しています。

本当にあの世を信じているのかなあ。ほとんどのお坊さんは信じていないと思う。本当に信じていたら恐ろしくて出来ないですよ。山に入って乞食した方がまだ徳です。

でなければ、一般の、その重労働して、一日一食、食べれば良いと言う仕事をした方がまだ救われる。それは結局、詐欺と一緒になのです。分かってないのに分かった振りをして。

お医者さんの衣着で間違った薬をやる人も時々いるけれども、良くしっかり勉強していなくて、「あ。間違った」と。それで、その医療保険で解決するけれども。だからお医者さん皆、医療保険払っているわけですよ。これもあり得ない話。

お医者さんだから絶対治さなければいけないし、治さなければ他の間違いをすることがないのに、間違えるという事は、何かが欠陥しているか、また何か医療法的にもおかしい、無駄な事をしているわけです。

悪智慧とか悪（あく）智慧とか。今でもデバダッタが混沌と生きています。そういう源流が。だからデバダッタが良い見本なわけです。凄いお釈迦様でさえこれくらい苦労しているのに、デバダッタが死んでから、皆、もう、この世はお釈迦様の教えで良いと言うけれども。

玄奘大師がアフガニスタンを周って来た時に、ゴータマカというゴータマカ。何かと言えば、絶対にお釈迦様を拝まない。他の仏は拝むけれども絶対にお釈迦様は拝まないという。

【参加者】

面白いですね。力が付くのですね？

【水源師】

そう、ゴータマカと言うのがあるわけですよ。その当時でさえすでに。日本でもどこ、どこの団体は、お釈迦様は絶対に拝まないけれども、他の事は一生懸命朝から晩までやっている。

やっぱり、人間というのは、国替えても時代替えても同じ事をするのだね。何か狂ってしまう。あれだけチベット仏教が凄くて、行者を一杯出しているのに、肅々とイスラムのモスクに行くのですよ。インドの山奥でチベットの人が誘われているのを見ました。

なぜかと言えば、イスラムを信じれば有難い事が一杯起こると。すぐに起こると。全部嘘だけれども。私がカブールでお話し、しました。兄弟同士人殺しして、町中の人々が地べたに住んで家もない。食べ物が無い。これで good luck が来ると信じるのですか？

自分の足で一步一步、進むしかない

人間は苦しいから、ちょっとでも甘い事を言えば、それに誘われて。お釈迦様は、「それは、全部、嘘だから自分しかないのですよ、自分で修行するしかないのですよ」と。「自分で歩むしかないのですよ」と。

本当に心の優れた人は、それがすぐ分かって、歩み続けるわけ、一步、二歩。誰からも教えてもらえないわけ。歩いて初めて道が分かる事であって。それも長々と千ページ、五百ページ、一万ページの本を読んだからと言って、そういうのは皆嘘です。そんなには覚えられない、学校の教科書何も覚えてないもの、私。何を言ったのか。ただ簡単な事は覚えているから。

お釈迦様級となれば簡単な一言、二言でそこを、矢の的を射る言葉でお終。それでずーっと歩いて行くわけです。それが勉強会とかそんなもう、本当に無明。一生懸命、無明をやろうとしている。

羅針盤の指す方向に只々、進んでください

だから、私の場合は印幻先生が、重大な言葉を四つ、五つゴンゴンそれ何十年も続けて、ただただやればこうなっているわけです。お釈迦様も一言二言でポーンとやるのだらうね。そんなものですよ。

長々、長々と説明した法話は、ジャータカ物語みたいに私は話しているけれども、今合わせて。本当の真理になれば、私も一言二言、ポーンとやってそこへ行くか、行かないかは本人だからね。それしかないのですよ。ちょうど羅針盤みたいで北、南とさして北だよという事。

後は、本人が森の中に入って見えなくても、北、北、北と歩いて行かなければいけないわけです。そうしたら、あ、山が見えてきたとなって。そういう事なのです。という事を実際言えば、来世もあるし、過去世もあるよと。普通の人は観ていないでしょ？

法随観やれば観えるけれども、その過程で。だから私が羅針盤みたいに、来世もありますと、過去世も何回も生まれ変わってありますよと、この事なのです。一言。

只、それを間に受けて真剣に人生を考えてどうすれば良いかと。それで私がまた地獄界もあるし、六処という、そういう世界もあるし、宇宙には増々凄い所があって、六処はこの欲界の事だけでも、それから天界を一つにまとめてしまっているけれども。天界には六天界とか、その上に色界というのがある。ブラフマンの層。その上に無色界があるわけです。

だから、もう想像を絶してしまうけれども、本当にありますよと。あと本人がそれを観てもらうしかないわけ、私としては。お釈迦様の言葉を受けてそれをやればそう観えただけで、私一人では到底、無理だけれども、その羅針盤みたいに北、北と言うから、北を歩いただけの事なのです。

だから最初カナダに来て、もう朝から晩まで本を読んだわけ、四年間は。だからありとあらゆる本の重要な所だけ。その後がないのですよ。読む本もないのです。その後、一切本は読まなかった。ただ座っていた。限界が見えたから。それに数学をやっていたから、限界が見えるわけ、人間の理論の、さっき言ったパスカルの話みたいに。



水源師 灌頂式

[I t i]・大海のように深い意味がある

だからそういう風に、あれはある、これはある、かれは、それはそれ、これはこれと。この言葉も、深い、深い意味があるわけ。これ、ほとんど素通りする言葉だけれども、インドでも西洋でも、It としか表現出来ないのです、神の事。

という、もの凄い大海の様に深い意味があるのだけれども、それを体験した人だけがその意味が分かるけれども。

普通の人、ただ He is a boy. She is a girl. It is a flower. とか I' m a boy. It is そんな感じ。

という風な、こんなこのパリー語あるでしょ、パリー語を訳せば、これは存在すると、あれも存在すると、It とか説明しているけれども、この最初の出だしの Iti という、英語では It、インド・ヨーロッパ語 Iti サンスクリット語とパリー語とほとんど似ているからね、発音。

だから、お釈迦様の言葉は凄く深いのですよ、ところが、日本語では絶対に分からないわけです、無いから。ただ日本語でも神代の言葉は深いけれども、皆忘れてしまったから、今は何が何だかさっぱり分からない。

津軽弁はサイキックな言語

だから、私が津軽弁で話す時に、長々と話さないですよ。簡単な発音でツツツツ。全部分かってタッタと。

一番苦労したのが、関西に行ってね、一から十まで説明しなければいけないのですよ、その意味の中身を。もうだだっくらしくて、こうして関西弁でどうとう慣れて、ちょっと外して言うからちょっと早くなったけれども。まあ、標準語も一緒。

ところが、津軽は特殊な言葉でね、全部説明なくても、ポイントでパッパッと分かります、本当にサイキックみたいに。

朝から晩までそれでいどこまでも続いて行くわけ、いくらでも続いていくわけ、なんぼでも、津軽弁だけ。

という風な日本には不思議な言葉があったけれども。今、消えてしまったと思うよ。何時間でも話すのです、「んだんだ、そ。うんだんだ、ああ、んだんだ」何言っているか分からないでしょ？

それで、何時間でも続いて行く、内容は映画以上にパッパッと出て来るわけですよ。凄いですよ。

【参加者】

秋田に行った時理解できなかったです、方言。

【水源師】

いや、それはね、方言が理解できないのは当然。全部言わないのですよ。ポイントだけポンポンと並べるから。その都会の人は長ったらしくて、もう嫌になるくらい。

私も弘前から大阪に行って、同級生に長々と説明しなければいけない、この意味を。本当、関西の人が分からない、私としてはその十分の一で説明できるのだから弘前では。

【参加者】

どういう事を、具体的に？

【水源師】

何でもです。

【参加者】

例えば？

【水源師】

お茶の事でも、食べ物の事でも、政治の事でも何でも。どの会話でも長々と説明しなければいけない。

【参加者】

食べなさいと言うのは、「け」と言う。

【水源師】

いやそれはね、関西の国の人はその言葉は分からないから、そうかなあとか説明して。ちょうどお釈迦様の、今、言葉を説明しているみたいなもの。

だから、そこに住んで体験すれば分かるけれども、生まれ育たなければ分からない。その言葉は。弘前に移住してきた人は他所の国の人なのです。津軽で生まれた人だけがお国の人なわけです。津軽以外は他国の人なの、本当に。そうなるわけです。

だから国籍は日本人であろうが何だろが関係ない、他国人なわけ。フォーリナーになるわけです。何故かと言えば、そこに来た人が二十年かけて、やっと少し津軽弁言えるようになったと、それくらい時間かかります。

ところが津軽弁は、生まれ育ったらね、五つか六つで全部話せるから。英語もそんなもの。外国語と言うのはそんなものです。

日本語だけで理解して「分かった」というのは完全に無明

只、お釈迦様のこういう言葉はね、瞑想すれば深く分かって行く。だから、いくら言葉習っても言えないわけですよ。

日本から来て、大学も出て英語もペラペラの人が来て、仕事をしてもらったわけ、カナダの労働者に。そうしたら、どうも話が通じない、こう正式な英語で言うから。私がぱっぱと、分かったと、それで仕事の値段が半分になりました。

一般の人の言う言葉と本に書かれている英語とは違います。仏教も全くその通りで、現地で座って初めて分かります、言葉が。それを遠い国の言葉を訳して、日本語の仏教の無い日本語で、お釈迦様が実際に来て教えたわけではないからね、その事を言っているのです。

それで「分かった」と、これは滅茶苦茶。道元禅師でも中国に行って、それが分かったけれども、中国に住んで。それで日本に伝えたけれども。

でなければ、本で道元禅師が行かなくても分かっているはず。弘法大師も行かなくても全部分かって。行く必要ないわけです。

ところが、今は行かないで全部分かると。完全に無明。本に書いてあるのが全て正しいと、どれだけ正しいかどうか。パスカルでさえ間違っているのだから。二千五百年前のソクラテスが、絶対真空はありえないと。ソクラテスはもう奥さんから虐め尽されて悪妻と言われる、いつも遊びまわって家にお金を持って来ないと。読み書きも出来ないしね。読み書きも出来ないけれども、オブザベーションでね、観察、観、ジーっと。そして物事を観たと。

だからソクラテスの話を聞けば、この人はもうアラハトになったか。というくらいの凄い方で。

それから孔子様の顔回という弟子も、経文に読めばまさにアラハト級の言葉を言っているわけですよ。だから孔子様が泣いたわけ。涙流して。若くして死んで、教えようと思ったその儒教が伝わらないと、弟子がいない、伝える人がいないと。

ソクラテスの場合は、プラトンとアリストテレスと、こう次いで西洋の凄い理論、ロジック。でもだめだという事なわけです。観て初めて無色界が分かる

事であって、瞑想して体験して。その言葉がその通りだったわけ。色界もまたまさにその通り。それを丸暗記して全て分かったと。

何処でどう間違っているか分からないですよ。北に行ったつもりが、南に行って森の中をクルクル回って、まったく逆に行って。ゴードマカという集団作るかも分からないし。まあそういう事で、長々と言ったけれども。

菩薩戒をやっても菩薩界には入らない・本当の菩薩行とは、

そして縁によって、無明が発生すると。これが発生する故によって、またサンカラ、行が発生して、行深でね、観自在菩薩、この縁によってまた識が発生すると。

意識ね、認識。この認識によって、結局ナーマ・ルーパ、人間とか生命体、動物とか、犬とか、鳥とか、魚とかその動いていると。名色の認識が発生して来るわけですね。

そして、この名色の認識によって、今度さっき言った天界、阿修羅界、人間界、鬼畜会、餓鬼界それから動物界、地獄界と、六処のこの中で、天界もその上には、六天界があるから、その上に今度ブラフマーの世界があって、その上に無色界があるから。

それを一つにまとめて天界と言っている。三十三天と言うからね。第二天は広がっているから。広大なものなのを、ただそれを一言だからね。体験すればすぐ理解出来るけれども、体験しなければ。それを丸暗記したらもう頭痛くなる。一生勉強したって追いつくわけがないし、時間帯もカルパが何だか分からないし。天文学者しか解析出来ないのに、漢文を読んで一阿僧祇劫が分かったとか。

もう、本当に手が付けられない状態。本当に無智の涙。それだったらせつせとオーガニック食料作って一つでも良いもの食べて美味しいと。そっちの方が本当に良い事していますよ。そういう方があちこちにいるわけですよ。

特に、一番困った事は、菩薩戒やったから何やっても良い、在り得ない話。菩薩という行は、どれくらい苦勞して、ブッダの映画、見てご覧なさい。どれくらい、その中で苦勞して行くか。戒をやったからもう私は菩薩界に入ったからと。そんな、もう、これほど滅茶苦茶な話しは無い。

それで、それに自惚れて私はもう菩薩界に入ったから最高の、そうしたらサティパターナー四念の行をすぐパッと通過しなければいけないですよ。それは恐ろしく狂っている事です。

ところが、そういう風に朝から晩まで専念するものだから、ああ私はもう菩薩行出来るのだと思って。ところが、実際行をしてみたらとんでもない。早く

涅槃に行かなければと。それくらいきついのですよ。

分からないが故に、無智の涙で言われれば何でも、ああお前はそのままやればオリンピックの Gymnastic 体操でゴールドメダルを取るよと。ゴールドメダリストになれば、誰が取るか分からないくらい絶妙な所なわけです。

予言も出来ない。取ると言っても落としてしまうのだから。菩薩行というのはそれ以上の事だから。そういう事を言わないね、日本では。恐ろしい本当にもう、滅法に近い所に来ているのではないかと思うくらい。

だから滅法の世界、アフガニスタンのカブールに行ってみたら、それでも滅法の世界で、入る直前はまだ天国の様に見えるよ。日本はまあ滅法に近い所にいるけれども、比べた場合には日本はまあ天国みたいに見えるよ。

【参加者】

まだ争いが無いから。

【水源師】

でも親が子を殺し、子が親を殺し、これはミャンマーとか、タイとか、在り得ない話。怖くて、怖くて。もう本当に地獄の一手手前、これまだ地獄ではないのですよ。滅法と滅法の直前の世界。

地蔵経を読めば、地獄界の手前が、鉄の鳥が飛んで人を食い荒らしていると。それで地獄界に近い海では鉄の魚が来て人間を食い荒らしていると。潜水艦、F35 ジェット機。

そういう風にしか、説明できないわけ。昔の鳥とか魚しかいないから。陸では鉄の狼がどんどん人を食い殺して行くと、鉄だからもう武器弾薬も、鉄砲とか槍でやってもそんなものは無い。戦車、凄い戦車今は、自動戦車でアーティフィシャルインテリジェンス artificial intelligence で、もうミサイルを発射するし、もう自動的にダッダダッダと敵も分かるし、小さいミサイルも一発ではなく、5 発 10 発。飛行機まで落とすと。

人間の軍隊が来たら千人、百人、バッババと全部殺してしまうと。それが地蔵経に書いてあるのですよ、現代の科学も分からないその大昔の時の經典に。

24 因縁

この話、そうして話を進めて行かなければ。こういう風にして六処に生まれて。またそれによって、生きている感覚、それからその接触によって、気持ちが良いなあとか、そういう事によってまた生まれたいと。

という事によって、今度、生まれ出てくる事によって、生、老、病、死が発生すると。生、老、死となっているけれども、生、老、病、死の方がまだ良いけれども。それによって悲しみとか色んなものが追随してくると。

そして、それを今度、無明を光明という般若の力によって、お釈迦様の力によって、逆転して行って、それを全部崩壊して、涅槃の世界に行けますと。そういう事を言っています。

それで、縁ということが、24 縁があります。因縁が、カルマ。それをミャンマーでは朝から晩まで

1、hetupaccayo 因縁

2、ārammaṇapaccayo 所縁縁、

結局あなたと私とか、住む所とかそういうところの縁もあると。だからインドに生まれる人は何代も何代もそこで生まれ、生まれ、生まれ、生まれ、死んで生まれ、その世界しか知らないわけ。それから良い縁に会えば増々良い方向の縁に行くという縁もあると。それから悪い方向に行けば、もう無間地獄に落ちる様に無明の繰り返しの縁もあると。

3、adhipatipaccayo 増上縁

adhipati それが積み重なって悪い事をすれば増々悪い事、adhipati の縁によって良い事をすれば増々良い方向に行くと言う縁、積み重なりね。という縁があると。

4、anantarapaccayo 無間縁

阿耨多羅三藐三菩提 anantara 無常、無間。

5、samanantarapaccayo 相續縁

結局、お釈迦様から良い事を聞いたら、それを続けて受け取ると。つまりギャング仲間に入ったらギャングのボスから悪い相續を受けると、スリの大將からスリのテクニックを教えて、それを相續、受けると。商売だったら商売で良い人に会えば良い商売するけれども、悪い商人だったら悪徳商人を受け取ると。

6、sahajātapaccayo 俱生縁

どうしても、あなたが生まれたら私が生まれると。お釈迦様とデバダッタ、延々と続いて行きます。

オウムによって徹底的に潰された日本の精神界

という風に説明すれば分かりやすいでしょう。それが、これだけでべらべらやったら何が何だか頭が痛くて、それがまた難しい言葉で難しい理論やればもう、お釈迦様はもっと明快に、もっと明快に綺麗に簡単に説明して行きます。

だから、皆、悟りに行ってしまうわけです。私はラッキーなのです、あなた方が修行しているから。うんうんと頷いてくれるけれども、普通の人は「何これ、何だろう？」とか言って、「この人ちょっと頭がおかしい」って言われるのがオチですよ。「瞑想？あら、まあ！オウム真理教の親族」とか。

だから、オウム真理教が徹底的に日本の精神界を潰しに来たわけです。それで、それがそれに対抗できないのですね。あれは間違いだけれども、世の中には立派なお釈迦様のお坊さ様がタイにもいるしミャンマーにもいるし、あちこちにいますよという、チベットにも、今個人的には来ているけれどもいっぱい。

それに出会える人は幸せ。でも一般の衆生は、もうテレビの魔漬けになって、魔の漬物になってしまっているから取れないわけですよ。「嘘だろう！」とか。お前も変な坊主だろうとしか。こうなれば、もうお終。頼る所が一つもないもの。まあ、そう言うことだから。



ミャンマーの大学僧院・マンダレー

水源禪師法話集 102

(2018 年 7 月 24 日 カナダ合宿五日目)

2019 年 3 月 15 日発行

編集兼発行 一乗禪の会